

日本の
ひなた
宮崎県

みやざき のうごき 2023

～宮崎県の今とこれから～



contents

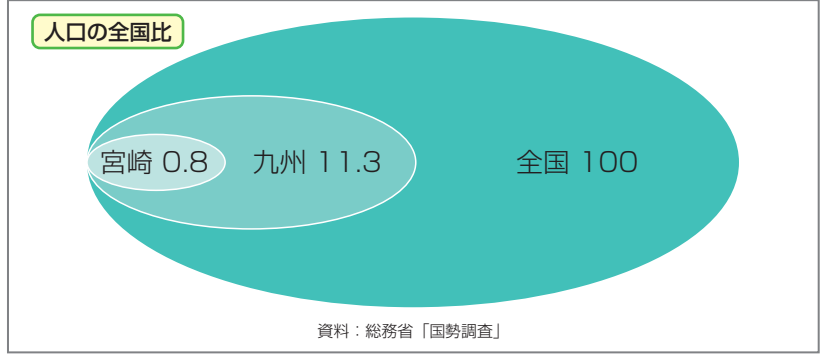
- 1 宮崎県のすがた
- 2 人口のうごき
- 3 経済のうごき
- 4 宮崎県総合計画
- 5 宮崎再生、そして新たな宮崎づくりに向けた取組
- 6 行財政改革の推進
- 7 宮崎県の財政
- 8 宮崎の主な県政のうごき
- 9 宮崎県のあゆみ
- 10 全国から見た宮崎県

1 宮崎県のすがた



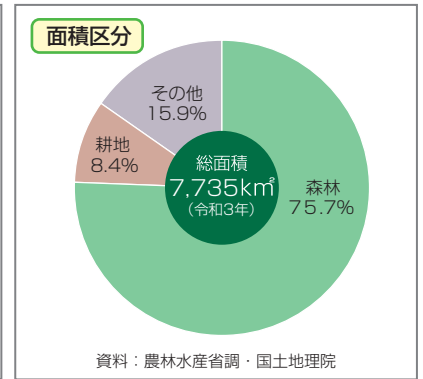
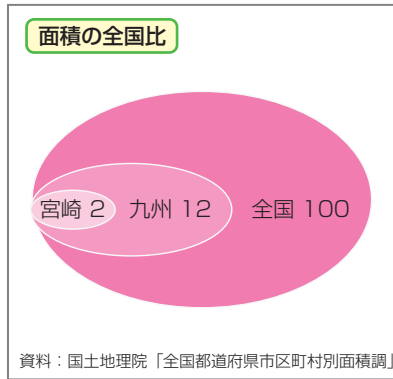
1 人口

- 県の人口は1,070千人（令和2年10月1日）で、全国人口の約0.8%となっています。



2 面積等

- 県土面積は7,735km²で、国土の約2%を占めており、9市14町3村で構成されています。
- その中で、森林(5,854km²)が75.7%、耕地(648km²)が8.4%となっており、緑豊かな地勢となっています。



3 気候

- 平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間、快晴日数は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。
- 降水量も多く、豊富で良質な水資源に恵まれています。

快晴日数*	52.7日	(全国2位)
日照時間	2,122時間	(全国6位)
平均気温	17.7℃	(全国3位)
降水量	2,626mm	(全国2位)

資料：気象庁「日本気候表」（宮崎市、平成3年～令和2年の平均）
 ※「快晴日数」のみ昭和56年～平成22年の平均

4 自然環境

- 本県は、緑豊かな山々や美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は91,919haで、県土の約12%を占めているほか、105haの海域公園地区が指定されています。
- 全国に先駆けて制定した沿道修景美化条例などに基づいて、沿道の修景、自然環境の保全と創出に努め、郷土の美化を推進しています。



沿道修景植栽地区

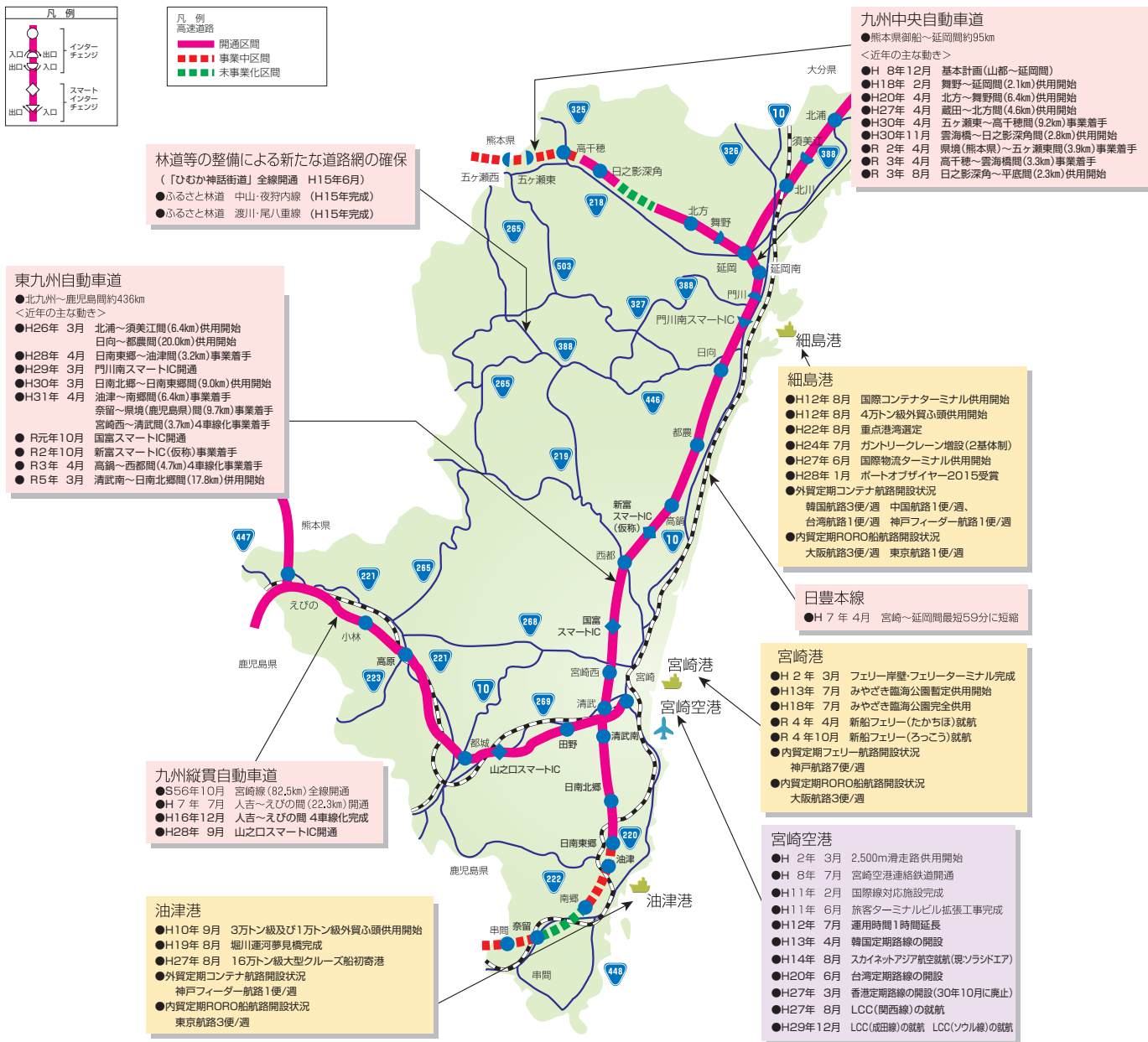
国立公園	1公園	13,006ha	(霧島錦江湾)
国定公園	4公園	31,968ha	(日南海岸、祖母嶺、日豊海岸、九州中央山地)
	海域公園地区	2公園 12地区	105ha (日南海岸、日豊海岸)
県指定	県立自然公園	6公園	46,945ha (尾鈴、西都原杉安峡、母智丘関之尾、わにつか、矢岳高原、祖母嶺)
	自然環境保全地域	2か所	184ha (檜葉、掃部岳北部)
	緑地環境保全地域	4か所	21ha (森谷観音、大斗滝、三之宮峡、長谷観音)
	沿道自然景観地区	18か所	1,026ha
	沿道修景植栽地区	74地区	168km

資料：自然環境課 (R3.3.31)
 道路保全課 (R3.3.31)

5 総合交通網

●総合交通網の整備状況

東九州自動車道及び九州中央自動車道をはじめとする高速道路や国道などの整備による「県内1時間構想」の実現、空港・港湾の整備等に向けて、積極的な取組を行っています。



空路	東京(羽田)	東京(成田)	名古屋(中部)	大阪(伊丹)	大阪(関西)	福岡	沖縄(那覇)	ソウル	台北	
	90分 (日17往復)	105分 (日1往復)	75分 (日3往復)	60分 (日11往復)	65分 (日1往復)	40分 (日13往復)	85分 (日1往復)	100分 (運休中)	120分 (運休中)	
高速バス	福岡(博多天神)	長崎	熊本	新八代(B&S)	高千穂	福岡	熊本			
宮崎～	4時間19分 (21往復)	5時間17分 (2往復) ※季節運行	3時間23分 (14往復)	2時間23分 (15往復)	2時間40分 (1往復) ※季節運行	高速バス 延岡～	4時間27分 (4往復)	4時間5分 (2往復)		
鉄道	博多(九州新幹線経由)	博多(日豊本線経由)	博多(B&S)	小倉	大分	鹿児島中央				
	3時間32分(415km)	5時間14分(406km)	3時間11分	4時間27分(340km)	2時間59分(207km)	2時間2分(126km)				
カーフェリー	神戸	RORO船	大阪	RORO船	東京	大阪	RORO船	東京		
宮崎(宮崎港)～	495km 12時間20分 (週7便)	宮崎(宮崎港)～	494km 20時間 (週3便)	日向(細島港)～	888km 25時間 (週1便)	457km 14時間30分 (週3便)	日南(油津港)～	974km 25時間 (週3便)		
外貨定期航路	釜山(韓国)	上海(中国)	高雄(台湾)	神戸(フィーダー)	外貨定期航路	神戸(フィーダー)				
日向(細島港)～	1日(週3便)	3日(週1便)	7日(週1便)	2日(週1便)	日南(油津港)～	2日(週1便)				

(R5.5月現在)

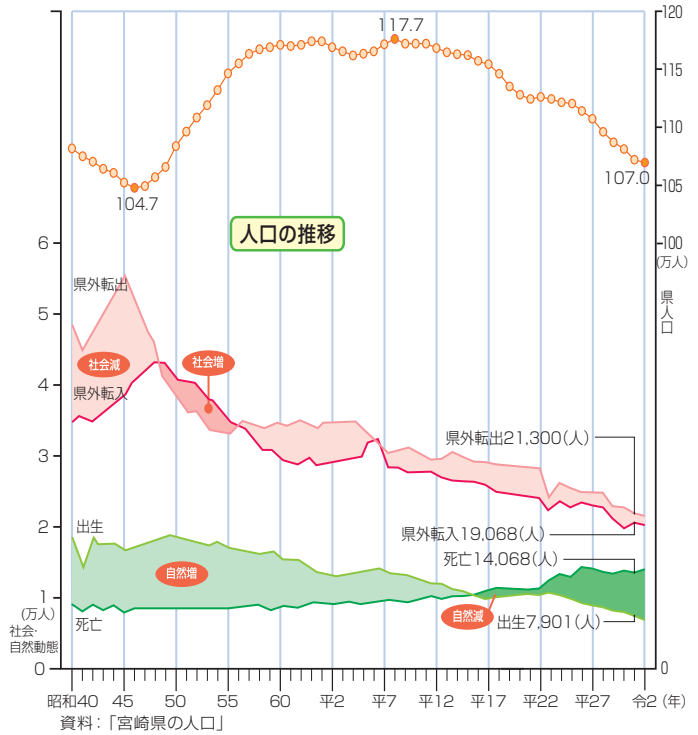
※ 時間は、往復のうち最短時間を記載している。
 ※ RORO船：トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み、貨物を積載したまま運搬できる貨物用の船舶。
 ※ フィーダー：国内の主要港湾で中継され、外国の港湾へ接続する航路。

2 人口のうごき



1 人口の動態

- 本県の総人口は、昭和46年(104万7千人)を境に増加基調に転じ、転出数の大幅な減少などを背景に昭和50年代前半まで高い伸びを示しました。
- その後、人口増加率は低下を続け、県人口は、平成8年(117万7千人)をピークに減少傾向にあります。
- 自然動態をみると、自然増減数(出生数-死亡数)は、出生数の減少に伴い、昭和55年以降は減少傾向にあり、平成15年には自然減に転じています。
- 社会動態は、昭和56年以降、転出超過に転じた後、平成5~6年には転入と転出がほぼ同数となりましたが、平成7年以降、再び転出超過が続いています。

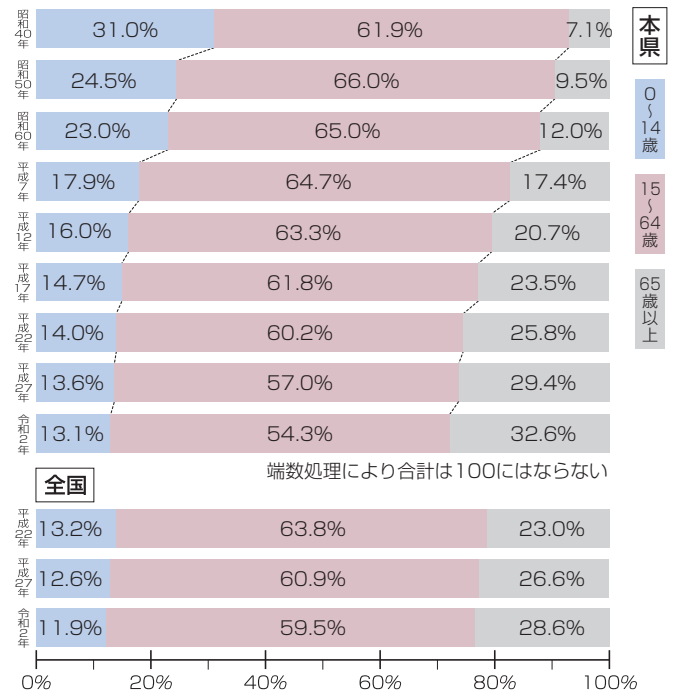


2 年齢(3区分)別人口の推移

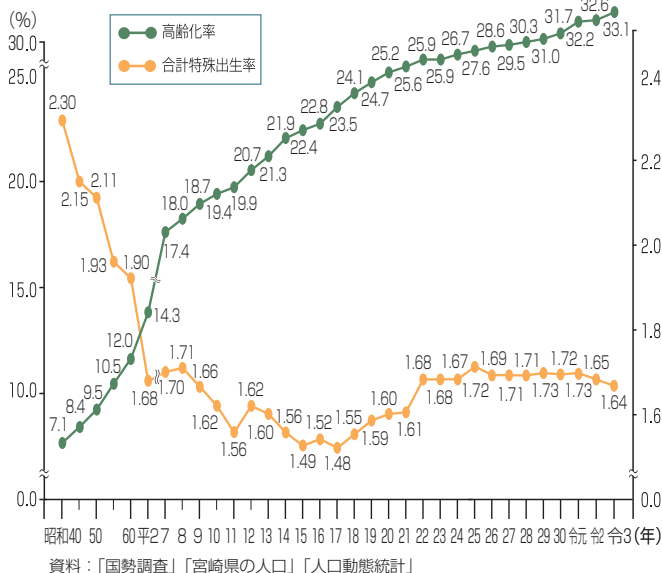
- 本県の65歳以上人口は、昭和40年の7万7千人から令和2年には34万9千人と約4.5倍に増加しており、全国より早く高齢化が進んでいます。
- 平成8年以降は、65歳以上の人口割合が14歳以下の人口割合を上回る状況となっています。
- 合計特殊出生率^{*}は、1.64(令和3年)で全国平均1.30を大きく上回っていますが、現在の人口を維持するために必要な水準2.07を下回っています。

^{*}合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を生むかを示す指標。

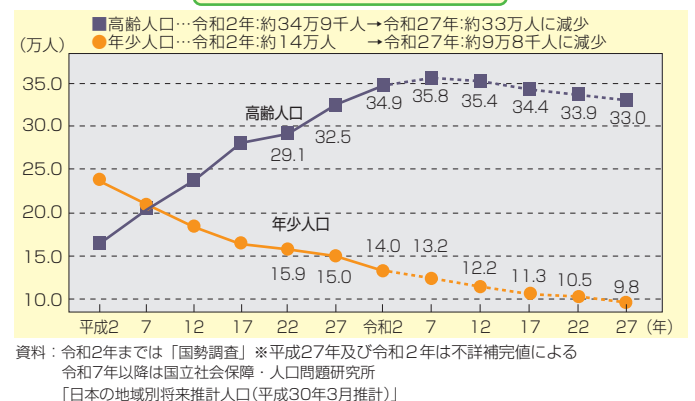
年齢3区分別人口の推移



高齢化率と合計特殊出生率の推移



宮崎県の高齢・年少人口予測

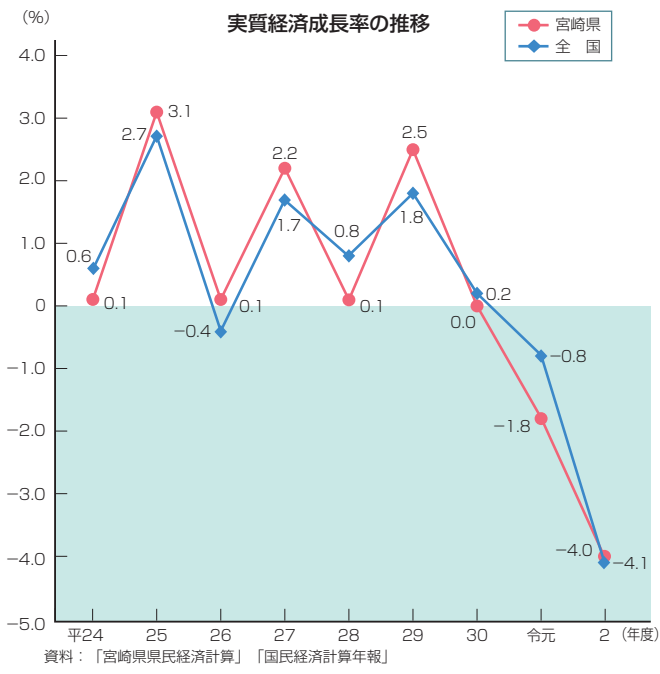


3 経済のうごき

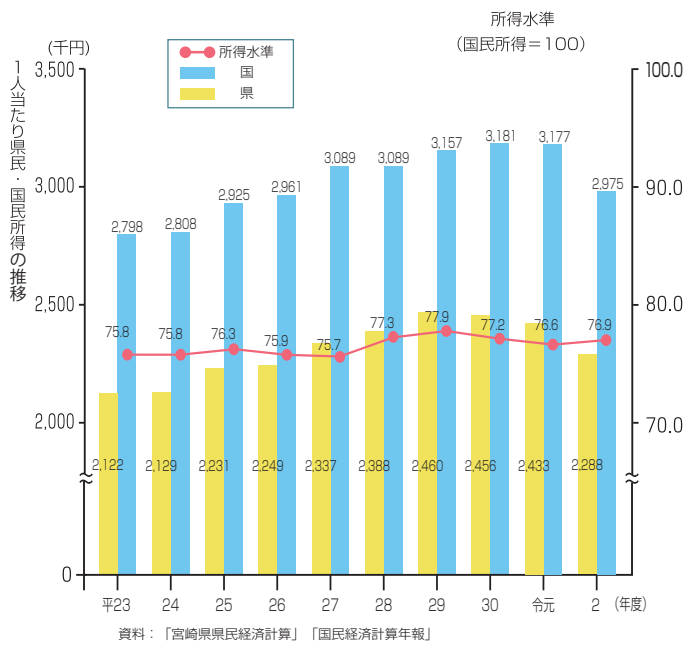


1 経済成長率(実質)

● 令和2年度の県内総生産
 名目県内総生産 3兆6,025億円
 実質県内総生産 3兆5,206億円

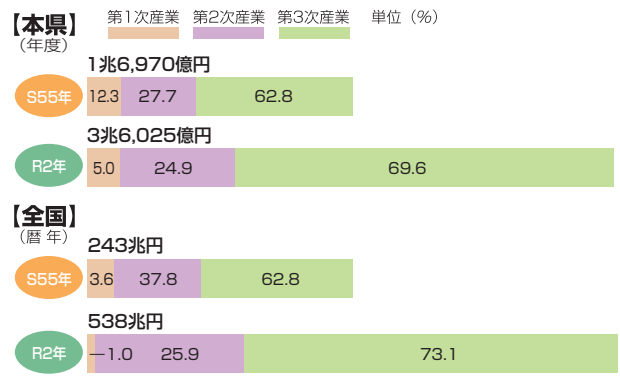


2 県民所得の推移(人口一人当たり)

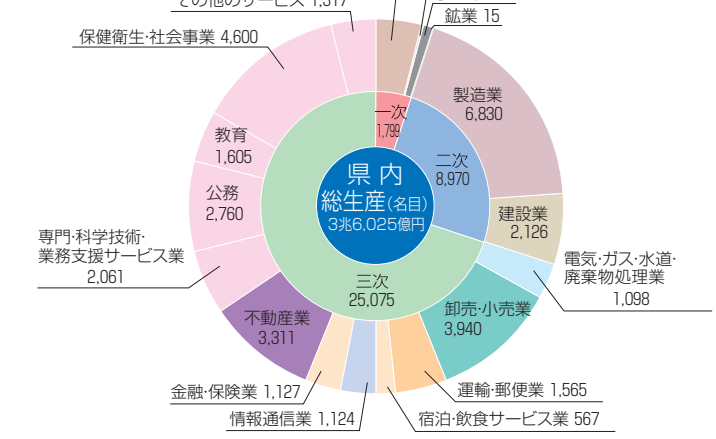


3 産業構造

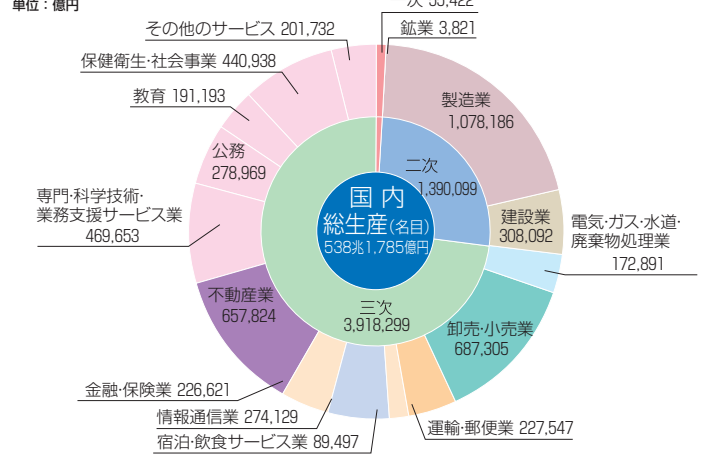
1. 県(国)内総生産(名目)



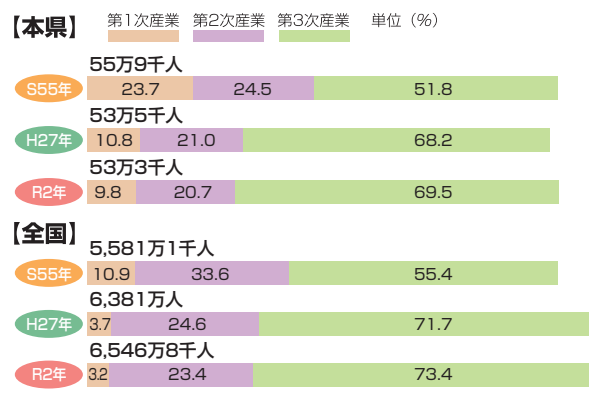
令和2年度 産業別構成(本県)



令和2年(暦年) 産業別構成(全国)



2. 就業人口





宮崎県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。
 「長期ビジョン」は、令和22年（2040年）の将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。
 「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和5年度～令和8年度（2023～2026年度）の4年間に重点的・優先的に取り組む5つの重点プログラムを設定しています。

宮崎県総合計画

長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望

【基本理念】安心と希望の未来への展望

将来像 1	将来像 2	将来像 3
一人ひとりが生き生きと活躍できる社会	安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会	力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

未来に必要な5つの要素(キーワード)

持続可能性	デジタル・先端技術・イノベーション	
人材力	地域力	きずな・つながり

今後の方向性

1	人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持
2	くらしを支え、未来を拓く産業づくり
3	人生を豊かに過ごせる地域づくり
4	将来の人口安定化に向けた社会づくり

アクションプラン(令和5～8年度の4年間)

5つの重点プログラム

I	コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生
II	希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり
III	「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍
IV	社会減ゼロへの挑戦
V	力強い産業の創出・地域経済の活性化

知事の政策提案

※都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置づけています。

アクションプラン 5つの重点プログラム

プログラムI コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

- ▶ 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実
- ▶ 県民生活・地域経済の早期回復
- ▶ 魅力あふれる「観光みやざき」の創生

【主な取組内容】

医療・福祉人材の確保・育成対策の強化、貧困や孤立など困難を抱える人への支援、中小企業・小規模事業者への支援、「スポーツランドみやざき」のブランド力向上などに取り組みます。



プログラムII 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり

- ▶ 希望ある未来への挑戦
- ▶ 交通・物流ネットワークの維持・充実
- ▶ 命や暮らしを守る災害に強い県づくり

【主な取組内容】

次世代モビリティやメタバースなど未来技術の活用検討、持続可能な地域交通網の構築、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策などに取り組みます。



プログラムIII 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

- ▶ 子どもを生き育てやすい県づくり
- ▶ 未来を担う子どもたちの育成
- ▶ 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり
- ▶ 健康・学び・スポーツ・文化の充実

【主な取組内容】

結婚・出産の希望がかなう環境づくり、新たな時代を生き抜く力を育む教育・キャリア教育などの推進、女性や障がい者、高齢者、外国人など様々な人が活躍できる社会づくり、健康づくりや生涯学習、スポーツ・文化交流の促進などに取り組みます。



プログラムIV 社会減ゼロへの挑戦

- ▶ 若者・女性の県内就業・県内定着の促進
- ▶ みやざき回帰・県外からの移住の促進
- ▶ 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

【主な取組内容】

「みやざきで暮らし、働く」良さの創出と情報発信、移住・U・I・Jターンの促進や関係人口・交流人口の拡大、中山間地域の振興、ゼロカーボン社会づくり、交通安全・防犯対策などに取り組みます。



プログラムV 力強い産業の創出・地域経済の活性化

- ▶ 産業を支える多様な人材の確保・育成
- ▶ 新産業の創出と地域経済の活性化
- ▶ 稼げる農林水産業への成長促進

【主な取組内容】

ICT技術者等の確保・育成、世界市場への積極的な展開、先端技術等を活用した持続可能な農林水産業への転換などに取り組みます。



5

宮崎再生、そして新たな宮崎づくりに向けた取組



1 コロナ禍・物価高騰等からの再生・復興

○宮崎再生の加速化に向けた取組

■ 本県の強みを活かした魅力発信の取組

(1) 宮崎県人会世界大会（置県140年）

2023年10月27日～10月29日に「宮崎県人会世界大会」を開催し、県人会の活性化を図り、本県の更なるプロモーション展開を図っていきます。



(2) スポーツランドみやざきの取組

旧オーシャンドーム跡地に整備し、4月に供用開始した屋外型トレーニングセンター（愛称：アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎）を核として、スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベント・大会を全県的に展開する取組を実施することで、地域経済の活性化や観光振興の効果を県内全域に波及させていきます。



- ① 市町村受入施設等の環境整備への支援
- ② スポーツキャンプ・合宿、スポーツイベント・大会の開催・誘致及び支援
- ③ ラグビー日本代表をはじめとする国内外代表合宿の誘致
- ④ アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎をはじめ、県内市町村が所管するスポーツ施設の誘致セールスなど



■ 交流回復の取組

(1) みやざきインバウンド誘客回復・強化に向けた取組

重点市場である韓国、台湾、香港等からの誘客回復を促進するため、現地での情報発信の強化を図るとともに、商談会への出展や現地旅行会社が造成する旅行商品への支援等を行います。また、欧米豪等の新規市場向けに新たなテーマ型観光での誘客やクルーズ船の誘致等に取り組めます。



(2) 国際線の早期再開に関する取組

令和2年より運休している国際線の早期再開に向けて、チャーター便を運航する航空会社への支援など、着実に取組を進めるとともに、宮崎空港における受入体制の充実を図ります。

(3) 大阪・関西万博を見据えた観光誘客に関する取組

2025年の大阪・関西万博の開催を見据え、国内外の交通機関や観光関連事業者と連携した効果的な誘客対策を実施するとともに、本県の魅力を強力に発信するための観光プロモーションに取り組めます。

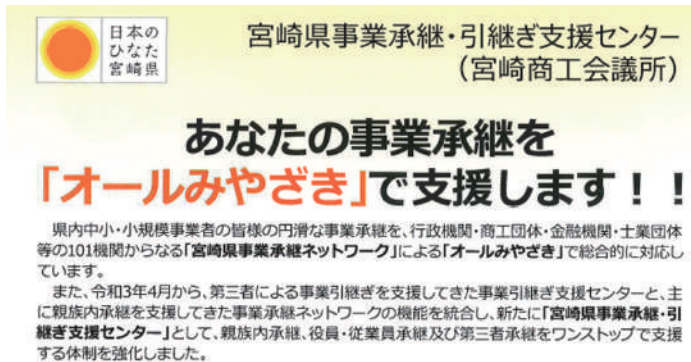
- ① 旅行会社や交通機関と連携した旅行商品の造成・プロモーション
- ② 大阪・関西万博関連イベントでの観光プロモーション
- ③ 関西圏における広報媒体を活用したPR
- ④ 欧米豪等富裕層の誘客強化



■ 経営改善・事業再生に向けた取組

(1) 事業承継支援のための取組

行政機関や商工団体、金融機関、士業団体等で構成する「事業承継ネットワーク」による、事業承継に関する啓発に力を入れるとともに、具体的な承継計画の作成・実行段階に発生する費用や後継者が行う新たな事業展開を支援します。また、支援者側のスキルの強化やネットワーク構成機関が連携した個社支援などの取組を促進します。



啓発用チラシ (一部)



宮崎県事業承継・引継ぎ支援センター

(2) 中小企業支援ネットワークを活用した支援の取組

コロナ禍や物価高騰の影響を受けた中小企業・小規模企業者の経営改善・事業再生を図るため、金融機関、商工団体、士業団体、各種支援機関、信用保証協会、県で構成する「中小企業支援ネットワーク」において、支援者側の経営支援スキルアップの強化やネットワーク構成機関が連携した個社支援などの取組を促進します。



啓発用チラシ (一部)



中小企業支援機関担当者向け研修

○ 県民生活安定化のための取組

(1) 貧困や孤立など困難を抱える人への支援

子ども食堂や学習支援、フードバンクなど、主に生活困窮世帯の支援のために民間団体が取り組む子どもの居場所づくりを支援することで、経済的に困難な家庭の負担軽減を図ります。

(2) 自殺対策

夜間電話相談の運営や、さまざまな悩みをワンストップで相談できる相談会の開催、身近な人の異変に気づき、声をかけて悩みを聴く「ひなたのキズナ声かけ運動」を通じて、自殺予防を図ります。

(3) ひきこもり支援・相談体制強化

ひきこもり当事者やその家族が、身近なところできめ細やかな支援を受けられるよう、市町村や関係機関に対する研修会の開催や「ひきこもりサポーター」の養成等を通じて市町村の支援体制の整備を図ります。

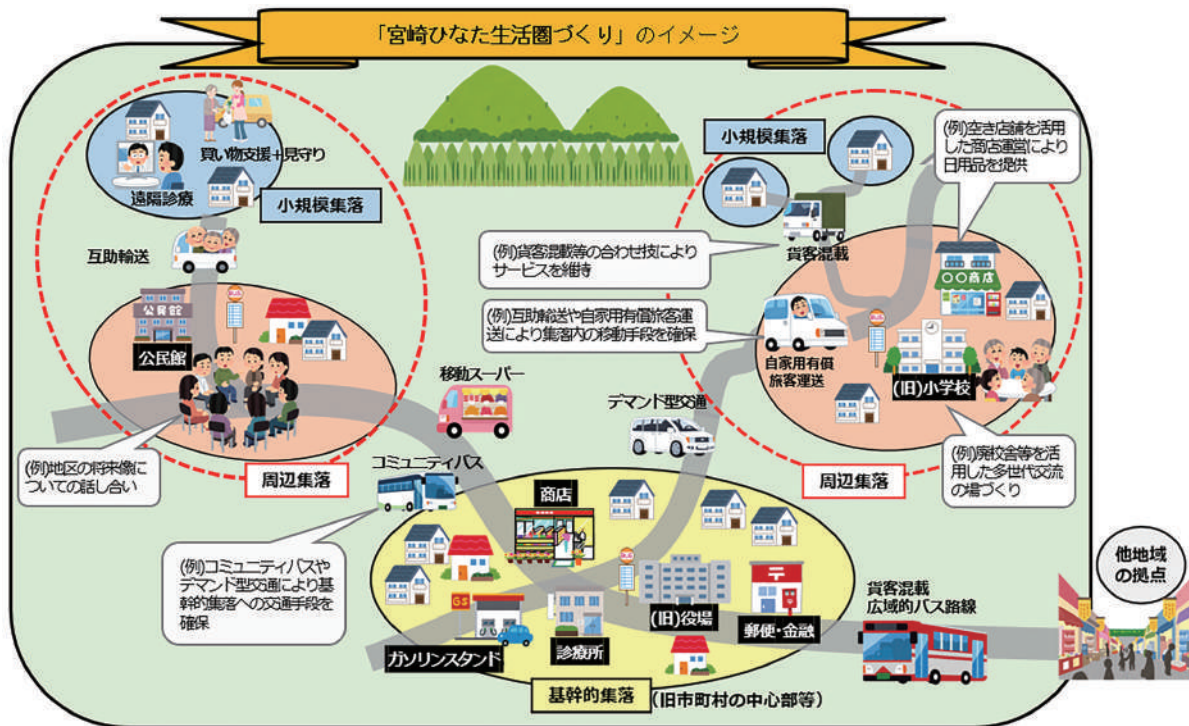


○生活を守る・支える「宮崎ひなた生活圏づくり」の推進

人口減少・少子高齢化により、医療・介護、交通、買い物等の日常生活に必要なサービスや機能の維持・確保が困難となっていく中であっても、将来にわたって住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、「宮崎ひなた生活圏づくり」を進めていきます。

「宮崎ひなた生活圏づくり」とは…


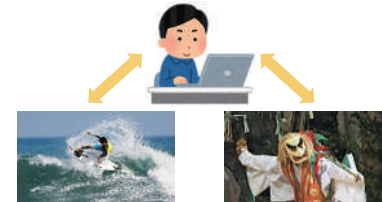

拠点となる基幹的集落を中心として、周辺集落・小規模集落との間を交通(コミュニティバス、自家用有償旅客運送等)や物流(貨客混載、移動スーパー等)のネットワークで繋ぐことにより、複数の集落が相互に連携・補完し合いながら日常生活に必要なサービス・機能を維持・確保していく仕組みづくりのこと



○移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大

将来的な移住につながる本県のファン層や関係人口の創出・拡大を図るとともに、宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターにおける相談対応等を通して、本県への移住(UIJターン)を促進します。

また、本県に移住された方の定住・定着の促進に取り組みます。

①本県のファン層の創出・拡大	②関係人口の創出・拡大	③移住者の定住・定着の促進
<p>首都圏において若手社会人や大学生を対象にした「起業」「就職」をテーマとする交流会を実施し、宮崎での仕事や暮らしの魅力を発信します。</p> 	<p>サーフィンや神楽など趣味等とリモートワークとを組み合わせた短期のお試し滞在や、ワーケーションの機会を提供します。</p> 	<p>移住者からの相談等に対応する移住サポーターの設置や交流会を通じ、移住者と地域とのつながりづくりを促進します。</p> <p>また、地域おこし協力隊員の任期終了後の地域への定着促進に向け、研修会の開催やOB・OGによる相談体制の整備に取り組みます。</p> 

○中山間地域の医療体制維持

中山間地域における効率的で持続可能な医療提供体制の構築のため、ICTを活用した遠隔診療支援などの医療体制整備や、へき地医療体制の機能強化、救急医療体制の充実を一体的に推進します。

また、中山間地域において有効活用が見込まれるオンライン診療の実証や導入支援などを行うことで、医療のデジタル化を推進します。



○産業DX推進に向けた取組

①事業者の啓発、理解促進

DXの最新情報や先進事例等を学ぶためのセミナーやDXの最新技術等を体験しながら学べる展示会を開催します。

②人材育成の推進

就業者を対象としたデジタル技術のリスクリング講座やICT業務従事者等を対象とした専門講座、高校生・大学生を対象としたITスキル講座等を実施します。

③デジタル技術等の実装の推進

県内において、費用対効果の高いデジタル技術等の導入を支援するとともに、県内事業者のデジタル化に関する相談窓口として、「産業DXサポートセンター」を設置し、事業者のデジタル化に向けた課題解決を支援します。



R4年度DX技術体験展示会



ひなたデジタルアカデミア2023

○持続可能な農林水産業に向けた取組

2023年4月のG7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」を具現化していくため、持続可能な農林水産業の実現に向けた取組を進めます。

【農業】

施設園芸における化石燃料の低減、堆肥の利用促進による化学肥料の低減、飼料用米の生産拡大、有機農業の推進など、海外資源に過度に依存しない生産構造への転換に加え、バイオマス資源の有効活用によるエネルギー創出やスマート農業技術の実装など、官民が連携したイノベーションに取り組みます。

【水産】

省エネ対応型エンジン等の導入による漁船の省エネ化や藻場・干潟の保全等によるブルーカーボンを推進するとともに、養殖業における人工種苗への転換など、資源の持続的利用に取り組みます。

【林業】

「伐って・使って・すぐ植える」資源循環型林業の実現を図るため、再造林対策の強化に取り組みます。



畜産バイオガス発電施設



ピーマン収穫ロボットの実装化



藻場の保全活動



再造林

○ゼロカーボン社会の実現に向けた取組

ゼロカーボン社会の実現に向けて、気運の醸成を図るとともに、省エネの推進や地域資源を生かした再生可能エネルギーの拡大などの取組を推進します。

●気運の醸成

イベントの開催やWEBサイトによる情報発信など、気運の醸成に取り組みます。



中学生向けイベント

●省エネの推進

LED照明などの高効率な機器の普及や脱炭素経営の推進に取り組みます。



電気自動車

●再エネの拡大

住宅屋根等への太陽光パネルの設置やバイオマス資源の活用に取り組みます。



バイオマス発電所

4 次世代育成、若者・女性活躍の推進

○少子化対策の取組

県民全体で出逢いや子育てを応援するため、「ひなたの出逢い・子育て応援運動」を推進し、「出逢い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」の各ライフステージに沿った切れ目ない支援を実施します。



①出逢い・子育てを応援する機運の醸成

「応援運動」を拡げるための推進大会等を開催するとともに、若い世代や企業・団体と少子化の現状や課題を共有しながら意見交換を行うなど、県民全体で出逢い・子育てを応援する機運を高めます。

②出逢い応援

「みやざき結婚サポートセンター」の活用や、「ひなたのグループ婚活」のイベント実施等により、結婚を希望する男女に1対1又はグループ単位での出逢いの機会を提供し、希望が叶うよう支援します。

③子育て応援

子育ての喜びや楽しさを実感してもらうため「子育て応援フェスティバル」を開催し、遊びの体験や子育て支援団体との交流を行います。また、新婚世帯が妊娠・出産、子育て等を考えるきっかけとするためのライフデザイン講座を実施するほか、ホームページやSNSを通して広く子育て情報を発信します。

○県内就職、女性・若者活躍に向けた取組

- 大学生等の県内就職を促進するため、就職情報サイト「CHOICE」やLINEアカウントにより、学生に県内企業の魅力や本県で働く魅力を伝えるほか、その保護者に対しても郵送により就職関連情報の発信を行います。またインターンシップに参加したい学生と参加者を探している県内企業とのマッチングサイト「みやざきインターンシップNAVI」を活用し、県内外の大学生等に県内企業のインターンシップ情報を幅広く提供します。



- 高校生の県内就職率をさらに向上させるため、地域・企業・高校とが連携した、インターンシップや企業見学会、学校での座学と企業での実習を組み合わせるデュアル教育システム等を実施することにより、将来地元で活躍できる人材を育成するとともに、高校生が地元企業と関わる機会を増やし、地元企業への就職を促進します。

○新たな時代に活躍できる人材育成の取組

- ホームステイ・留学等の情報収集・提供や準備指導のため、県立高等学校や中等教育学校における留学支援相談体制の充実を図ります。
- 中・高校生を対象に、留学生やALT等との交流を通し、県内にいながら海外留学の模擬体験ができる取組（グローバルキャンプ）等を実施しています。
- 県内の高校生を対象にした短期留学及び長期留学の促進により、グローバル化の進展に対応できる人材の育成を目指します。



○ICTや外部人材を活用した質の高い教育の展開

GIGAスクール構想の実現に向けて、環境整備と人材育成をさらに推進し、誰一人取り残すことのない「令和の日本型教育」の構築を目指します。

主な取組

- 1人1台端末の効果的な活用
- 情報モラル教育の推進
- モデル校等の指定とその支援
- 学校種を越えたICT教育エリアミーティングの開催

情報モラル教育(教材)



ICT教育エリアミーティング



外部人材を活用し、地域産業界や地元自治体が期待する職業人の育成を目指します。

主な取組

- インターンシップ（職場体験実習）
- デュアル教育システム
- 企業見学会や職業講話
- 就職支援エリアコーディネーターの配置
- ひむか未来マイスター・ハイスクール（地域、企業、学校と連携して人材育成）

インターンシップ (職場体験実習)



企業見学会



5 安全・安心な県土づくりの推進

○防災・減災、国土強靱化に関する取組について ～県土強靱化の実現に向けて～

激甚・頻発化する豪雨災害や、切迫する南海トラフ地震など大規模自然災害から県民の生命・財産を守るため、防災・減災対策に取り組んでいます。また、国の「防災・減災、国土強靱化対策」により、さらに集中的・重点的に取り組みます。

国の「防災・減災、国土強靱化に関する3か年緊急対策」により県土の強靱化を集中的に実施! (平成30年度～令和2年度)
さらに「防災・減災、国土強靱化に関する5か年加速化対策」により県土の強靱化を加速化・深化!! (令和3年度～令和7年度)

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
 - ・災害に強い道路ネットワーク機能強化対策（県内の高速道路の全線開通に向けて整備促進）
 - ・流域全体で行う流域治水対策（県内の各流域毎に協議会を設置し、あらゆる治水対策を実施）
 2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策
 3. 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
- などの取組を加速!

河道掘削等により
治水安全度向上（流域治水）

橋梁の耐震補強により
道路ネットワーク構造を強化

L1津波対策（大規模地震対応）

事業概要
県内の各河川で、河道掘削・樹木伐採を実施。

**二級河川
一ツ瀬川水系三財川
対策前R1.4
(霧島橋下流)**



流下断面不足による洪水氾濫により家屋浸水被害の恐れ

着手前

**対策後R2.5
(霧島橋下流)**



河道掘削・伐採により治水安全度向上! 事業のスピードアップ!!

完成



河道掘削・伐採
標準断面図

事業概要
国道218号の橋梁の耐震補強を実施。

九州東進作戦イメージ図



熊本
広域移動ルート
国道218号

日向灘

南海トラフ地震発生時、熊本、福岡方面からの支援ルートとなる国道218号の橋梁の耐震補強を推進!

国道218号
干支次橋
耐震補強

橋脚補強
粘性ダンパー設置

九州東進作戦の要となる国道218号の整備が加速!

事業概要
L1津波に対する防潮堤等を整備。

古江港海岸



防潮堤の整備イメージ



防潮堤

人命及び住民財産の保護、地域経済の確保の観点から防潮堤等の整備を行う。

○医療提供体制の充実

- ① 県西部圏域高度急性期医療の機能強化
都城北諸県・西諸圏域において、高度な技術を要する循環器病（脳卒中、心筋梗塞等）の患者に対する医療を提供するため、都城市郡医師会病院が実施する「心臓・脳血管センター」等整備を支援します。
- ② モバイルファーマシー整備事業
大規模災害時等において、被災した薬局の代わりに、避難所等で必要な医薬品を安定的に供給し、避難されている方々の健康を守るため、モバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）を整備します。
また、平常時には防災訓練やイベント等での啓発、学生向け職業体験など学習の場として活用し、災害時における薬剤師の役割の周知や県民の防災意識の高揚を図ります。



○新たな感染症危機への対応

新型コロナについては、引き続き感染動向を把握し、感染状況に応じた注意喚起を行うとともに、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方にもしっかりと医療を提供できるよう、必要な医療提供体制の確保に努めます。
また、ワクチン接種については、接種の意義やその効果、安全性を正しく判断できるよう、引き続き市町村と連携しながら県民への情報提供に努めます。
新たな感染症危機に備えるため、新型コロナへの対応を踏まえ感染症予防計画を見直すとともに、平時から関係機関間の連携強化を図り、感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策に取り組みます。



6 行財政改革の推進



限られた人員・財源の中で、多様化・高度化する県民ニーズに的確に対応しながら、県民本位の行財政改革を推進するため、令和5年6月に「みやざき行財政改革プラン(第四期)」を策定しました。今後、このプランに基づく様々な取組を着実に推進することにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

みやざき行財政改革プラン(第四期)の概要

基本理念

県総合計画の基本理念『安心と希望の未来への展望』を支える持続可能な行財政基盤の確立

○推進期間

令和5年度～令和8年度(4年間)

○推進体制

行財政改革推進本部(本部長:知事)を中心とした全庁的な行財政改革を推進するとともに、行財政改革懇談会(外部有識者)に意見を求めます。

○進捗状況等の公表

県民に分かりやすい形で毎年度公表します。

【改革プログラム】

改革の視点1 県政運営を支える行政基盤の構築と人材づくり

- (1) 簡素で効率的な行政組織等の整備
組織体制の見直し、適正な定員・給与の管理、公社等改革の推進等
- (2) 信頼性を高める行政運営
法令遵守意識の徹底、内部統制制度の適切な運用と監査制度の充実等
- (3) 県政運営の透明性の確保
効果的・効率的な政策の形成・推進、情報公開制度の適切な運用等
- (4) 県政を担う人材の育成・確保
行政ニーズに応じた多様な人材確保、女性職員の活躍推進等

改革の視点2 多様な主体との連携と県民目線のサービスの提供

- (1) 多様な主体との連携・協働
企業、大学、NPO、ボランティア等との連携・協働等
- (2) 市町村等との連携
市町村や国の機関との連携、市町村間連携の取組支援等
- (3) 県政情報の発信と県民ニーズの把握
分かりやすく適時・的確な広報等
- (4) 県民サービス・利便性の向上
行政手続の簡素効率化、相談窓口の利便性向上等

改革の視点3 行政のデジタル化と働き方改革の推進

- (1) 行政サービスのデジタル化の推進
ICT等を活用した行政サービスの利便性向上等
- (2) ICTの活用等による業務効率化
ICTを活用した業務効率化、デジタル人材の育成等
- (3) 全ての職員が働きやすい職場環境づくり
柔軟な働き方の推進、仕事と子育て・介護が両立できる職場環境の整備等

改革の視点4 健全な財務基盤の構築と資産の有効活用

- (1) 自主財源の確保とコスト縮減
県税収入確保に関する取組強化、省エネ・省資源の徹底等
- (2) 県有財産等の資産の有効活用
公共施設等の総合的かつ計画的な管理、知的財産権の取得と活用促進等

財政健全化指針

7 宮崎県の財政



●本県の財政状況

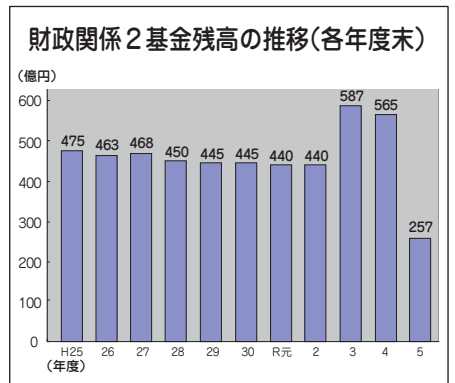
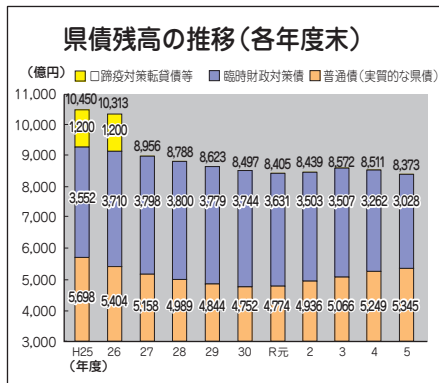
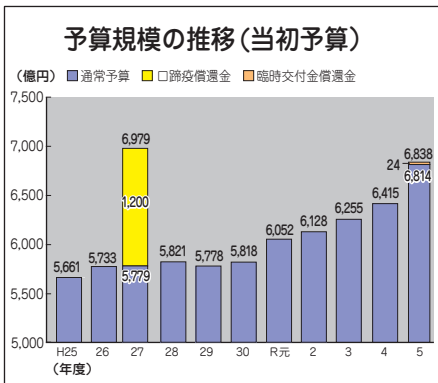
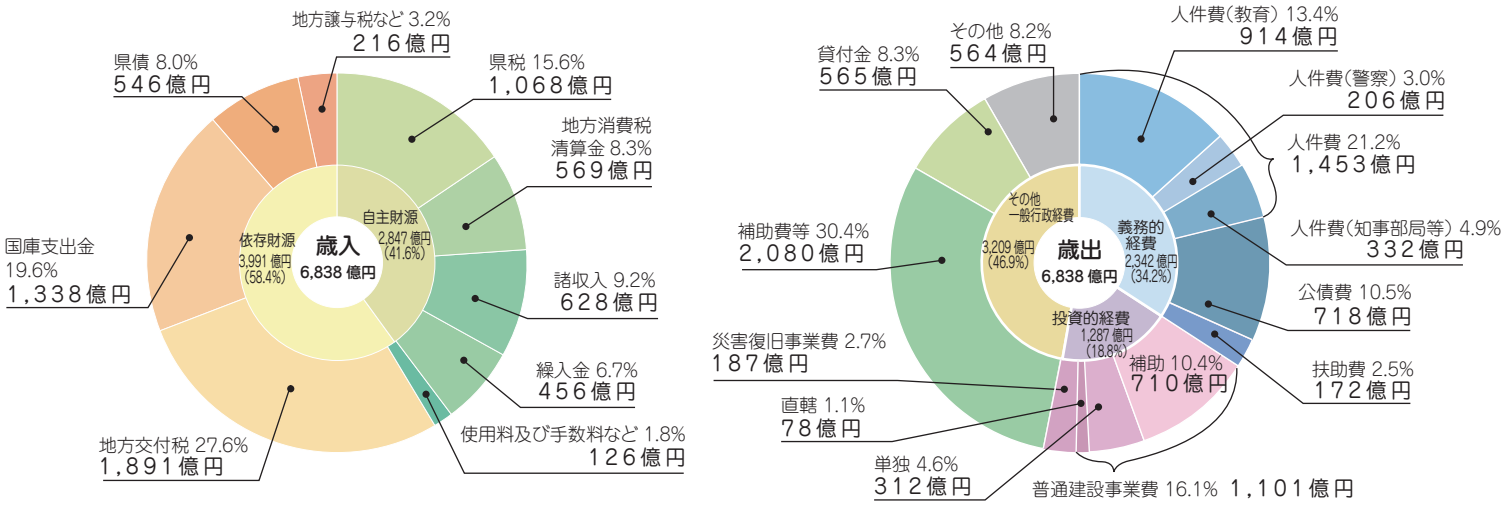
県税等の自主財源に乏しい脆弱な財政基盤にあり、今後、社会保障関係費に加え、コロナ、物価高騰等対策や防災・減災対策、国民スポーツ大会への準備、公共施設の老朽化対策等に多額の財政負担が見込まれることから、引き続き健全な財政運営を行っていく必要があります。

●令和5年度予算(6月補正後)の概要

予算額(一般会計)は、以下の考え方に基づき編成し、前年度当初予算額と比べ、6.6%増の6,838億円となっています。

- 令和5年度当初予算は、宮崎再生などの本県の課題に継続的かつ重点的に取り組むため、年間を通して必要となる経費を計上した「骨太な骨格予算」として編成
- 6月補正予算は、当初予算(骨格予算)をベースに、知事の政策提案等を踏まえ、宮崎の未来創造への第一歩を踏み出す、いわゆる肉付け予算として、以下の二本柱で編成
 - ・宮崎再生へ全速力
元の成長軌道にいち早く戻すため、宮崎再生基金の積極的な活用等により、再生を全速力で推進
 - ・未来創造のスタート
新たな成長軌道に乗せるため、宮崎の強みを更に伸ばし、新たな価値を創造

宮崎県の歳入・歳出(一般会計)



※平成27年度、令和元年度、令和5年度は6月補正後の予算額
 ※平成27年度の1,200億円は防災対策債償還金
 ※令和5年度の24億円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金償還金

※令和3年度までは決算額、令和4年度は2月補正後、令和5年度は6月補正後の見込額
 ※臨時財政対策債：地方交付税の代替財源として措置される県債。償還金の全額が後年度交付税措置される。
 ※防災対策債：防災復興対策を実施する財団法人が、その運用益で事業を実施できるよう、元本として貸し付けた県債。平成27年度に全額を償還。
 ※普通債：特例的な県債(臨時財政対策債等)を除く実質的な県債

※財政関係2基金：財政調整積立金、県債管理基金(財源調整部分)
 ※令和3年度までは決算額、令和4年度は2月補正後、令和5年度は6月補正後の見込額



○令和4年4月
「ソラシドエアサーフィンセンター木崎浜」供用開始



2019ISAワールドサーフィンゲームスのレガシーとして整備し、コイン式温水シャワーや更衣室などが備えられています。本県の優れたサーフィン環境をPRし、県外からの誘客や移住促進につなげていきます。(令和4年4月に供用開始)

○令和4年7月
「宮崎県医療的ケア児支援センター」開設



令和3年9月に施行された「医療的ケア児支援法」に基づき、県内で初めて、医療的ケア児やその家族からの相談をワンストップで受け付ける総合的な相談窓口として、県立こども療育センター内に開設しました。

○令和4年10月
「G7宮崎農業大臣会合の本県開催決定」



G7広島サミットの関係閣僚会合である農業大臣会合の本県開催が決定されました。10月に「G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会」を設立し、官民で会合開催やおもてなしの準備に取り組みました。

○令和4年10月
第12回全国和牛能力共進会で4大会連続の内閣総理大臣賞受賞



鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会において、本県は、2部門の優等賞首席に加え、今大会から新設された第7区(脂肪の質評価群)で内閣総理大臣賞を受賞。史上初の4大会連続内閣総理大臣賞の受賞となりました。

○令和4年7月
「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会」開催内定



令和9年(2027年)に実施される、第81回国民スポーツ大会(国スポ)及び第26回全国障害者スポーツ大会(障スポ)の開催地に宮崎県が内定しました。本県での国スポ(国体)開催は48年ぶりとなります。

○令和4年7月
「ひなた県人会国内サミット」開催



令和5年の宮崎県人会世界大会に向けた機運醸成や県人会相互のネットワーク化を図るため、7月22日から23日に国内県人会のキーパーソンを集めた「ひなた県人会国内サミット」を開催しました。

○令和4年10月
宮崎カーフェリー 新船「フェリーろっこう」就航



宮崎と神戸をつなぐ長距離フェリー航路において、新船「フェリーろっこう」が10月に就航しました。4月に就航した「フェリーたかちほ」との新船2隻体制で、本県の人流・物流を支えています。

○令和4年10月
「全国神楽継承・振興協議会」設立



全国神楽継承・振興協議会(事務局:宮崎県)の設立総会を令和4年10月11日に国立能楽堂で開催しました。最短で令和8年度の神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指します。

○令和4年10月
宮崎県とベトナム国立農業大学との人材の確保・育成に係る連携合意書締結式



本県とベトナム国立農業大学は、相互に連携・協力して人材の確保・育成を図ることを目的とする、連携合意書を締結しました。本県が海外の大学と連携合意書を締結するのは初めてです。本県と大学双方の発展につながる取組を推進していきます。

○令和4年10月
国道220号(東九州自動車道)油津・夏井道路(日南区間・串間区間)着工式



10月29日に油津・夏井道路(日南区間・串間区間)の着工式が、日南市・串間市で開催されました。串間市で初めての工事着工となるなど、整備が着実に進められています。

○令和4年11月
「五ヶ瀬の荒踊」のユネスコ無形文化遺産登録決定



「五ヶ瀬の荒踊」が、県内初のユネスコ無形文化遺産に登録されました。荒踊保存会によって、毎年9月の三ヶ所神社の秋季大祭で奉納された後、中登神社と坂本城址で披露されています。

○令和5年3月
「アジアゴルフツーリズムコンベンション2023」開催



日本初開催となるアジア最大の国際ゴルフツーリズムの商談会「アジアゴルフツーリズムコンベンション2023」が本県で開催され、宮崎の恵まれたゴルフ環境を世界に発信しました。

○令和4年10月
森林基幹道高千穂・日之影線「乙女大橋」開通式



高千穂・日之影線のシンボルである「乙女大橋」が開通しました。木材の搬出コストの縮減等のほか、災害時の迂回路や集落間をつなぐ生活道としての役割も期待されています。

○令和4年11月
JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップでの県産材使用の木製観戦スタンド初設置



本県で初めて締結された建築物木材利用促進協定に基づき、JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップにおいて、初めて県産材を使用した木製観戦スタンドが設置されました。

○令和5年2月
WBC侍ジャパン宮崎キャンプ



令和5年2月17日から27日の日程で、ひなたサンマリンスタージアム(宮崎市)にて、第5回WBCに出場する侍ジャパンが宮崎キャンプを実施しました。

○令和5年3月
東九州自動車道「清武南～日南北郷」間開通



3月25日に「清武南IC～日南北郷IC」間が開通しました。宮崎市と日南市間の移動時間が大幅に短縮され、観光振興や救急医療などに重要な役割を果たすものと期待されます。

9 宮崎県のあゆみ



宮崎県の歴史



昔の県庁周辺(昭和初期)

宮崎は、まっすぐに日の出る方に向いているということから、古より「日向の国」と呼ばれています。また、日本初代天皇・神武天皇にちなむ伝承が存在し、宮のあたりとか、所在地というような意味で、「宮崎」の地名が起こったといわれています。

古代のロマンにみちた神話・伝承や伝統文化が数多く残り、高千穂町・高原町の天孫降臨神話、椎葉村の平家落人伝説、美郷町(旧南郷村)の百済王族亡命伝説などが有名であり、西都市には、巨大な西都原古墳群が広がっています。

江戸時代、日向国は小藩が分立し、結局、延岡藩(内藤氏)・高鍋藩(秋月氏)・佐土原藩(島津氏)・飢肥藩(伊東氏)・島津藩領・天領となって明治に至りました。

明治6年、美々津県と都城県を廃し宮崎県が置かれ、明治9年に廃止となり、鹿児島県に合併され、西南戦争のときは本県も戦場となりました。

明治16年5月9日、分県運動の結果、宮崎県が再置され、今日に至っています。



今の県庁周辺

置県後のあゆみ

明治	16年 5月 7月	宮崎県再置 宮崎県庁開庁	
大正	12年 12月	日豊本線開通	
昭和	7年 10月	県庁舎(現在の本館)落成	
	22年 4月	第1回知事、市町村長選挙	
	24年 5月	宮崎大学設置	
	29年 12月	宮崎空港開港(極東航空ローカル線)	
	41年 10月	宮崎空港ジェット化 (地方空港として日本初)	
	48年 4月	第24回全国植樹祭(夷守台)	
	49年 6月	宮崎医科大学開学	
	54年 9月	第34回国民体育大会夏季大会	
	10月	〃 秋季大会	
	第15回全国身体障害者スポーツ大会		
和	56年 10月	九州縦貫自動車道宮崎線全線開通	
	58年 5月	置県100周年記念式典	
	11月	「新ひむかづくり運動」県民会議発足	
	61年 11月	第10回全国育樹祭(夷守台)	
	62年 6月	宮崎港開港	
	63年 7月	宮崎・日南海岸リゾート構想がリゾート法第1次指定	
	平	4年 8月	全国高等学校総合体育大会
		5年 2月	宮崎学園都市完成
		10月	第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会
		6年 4月	フォレストピア学びの森学校開校
7年 10月		県総合文化公園グランドオープン	
11月		第15回全国豊かな海づくり大会(油津港)	
8年 3月		第1回宮崎国際室内音楽祭	
7月		空港連絡鉄道開通	
11月		第9回全国健康福祉祭みやざき大会	
9年 4月		県立看護大学開学	
成	11年 3月	第16回全国都市緑化みやざきフェア	
	12年 4月	太平洋・島サミット	
	7月	九州・沖縄サミット宮崎外相会合	
	8月	細島港国際コンテナターミナル供用開始	
	13年 4月	宮崎～ソウル国際定期便運航開始	
	9月	「日本スポーツマスターズ2001宮崎大会」開催	
	15年 6月	ひむか神話街道全線開通	
	16年 4月	第55回全国植樹祭開催 県立西都原考古博物館開館	
	19年 4月	県立宮崎西高等学校附属中学校開校	
	20年 6月	宮崎～台北国際定期便運航開始	
21年 10月	全国スポーツ・レクリエーション祭 「スポレクみやざき2009」開催		
令和	22年 4月	県内で口蹄疫発生、同年8月終息宣言	
	8月	第34回全国高校総合文化祭 「全国高総文祭・みやざき2010」開催	
	23年	11月	宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」誕生
		4月	ドクターヘリ運航開始
	24年	10月	「第10回全国和牛能力共進会」宮崎牛2大会連続日本一
		6月	置県130年記念式典開催
	25年	11月	宮崎キャビア1983販売開始
		9月	第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会開催
	27年	5月	第26回全国「みどりの愛護」のつどい開催
		11月	「第18回全国農業担い手サミットinみやざき」開催
28年	12月	高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定	
	4月	東九州自動車道椎田南～豊前間供用開始により宮崎市～北九州市間全線開通	
29年	7月	霧島錦江湾国立公園が国立公園満喫プロジェクト先導的モデル地域に選定	
	6月	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定	
30年	9月	「第11回全国和牛能力共進会」3大会連続内閣総理大臣賞(最高位)受賞	
	5月	日本遺産認定「古代人モニュメント一帯地に絵を描く南国宮崎の古墳景観」(西都・宮崎市・新富町)	
31年 4月	「みやざき林業大学校」開講		
令和	元年 6-7月	ラグビーワールドカップ2019 日本代表事前チームキャンプ実施	
		9月	2019 ISAワールドサーフィンゲームス開催 ラグビーワールドカップ2019 イングランド代表公認チームキャンプ実施
	2年	7月	新型コロナウイルス感染症の流行
		7月	防災庁舎の完成
	3年 7-8月	東京2020オリンピック・パラリンピック海外代表チーム事前合宿	
		8月	本格焼酎出荷量 7年連続日本一
	7-10月	「国文祭・芸文祭みやざき2020」開催	
		4年 1月	新県立宮崎病院開院
	5年 2月	4月	ソラシドエアサーフィンセンター開設
		2月	WBC侍ジャパン宮崎キャンプ実施
4月	アミノバイタル®トレーニングセンター開設		

10 全国から見た宮崎県



指 標 名	単 位	全 国	宮 崎 県	順 位	対全国比 (%)	調 査 年 ・ 資 料 出 所
総 面 積	km ²	377,973	7,734	14	2.05	R4.10.1 国土地理院
総 人 口	千人	126,146	1,070	35	0.85	R2.10.1 総務省
一 般 世 帯 数	千世帯	55,705	469	35	0.84	R2.10.1 //
人 口 密 度	人/km ²	338	138	39	-	R2.10.1 総務省、国土地理院
合 計 特 殊 出 生 率	-	1.30	1.64	3	-	R3年 厚生労働省
県 (国) 内 総 生 産 (名 目)	億円	5,375,615	36,025	39*	0.67	R2年度 内閣府
一 人 当 たり 県 (国) 民 所 得	千円	2,975	2,288	46*	76.9	// //
消 費 者 物 価 地 域 差 指 数 (総 合)	-	100.0	96.2	47	-	R3年平均 総務省
総 農 家 数	戸	1,747,079	30,940	27	1.77	R2.2.1 農林水産省
農 業 産 出 額	億円	88,600	3,478	4	3.93	R3年 //
ピ ー マ ン 収 穫 量	トン	148,500	26,800	2	18.05	R3年 //
さ と い も 収 穫 量	//	142,700	13,700	3	9.60	R3年 //
き ゅ う り 収 穫 量	//	551,300	63,700	1	11.55	R3年 //
肉 用 牛 飼 養 頭 数	頭	2,687,000	260,200	3	9.68	R5.2.1 //
豚 飼 養 頭 数	//	8,956,000	818,200	2	9.14	R5.2.1 //
ブ ロ イ ラ ー 飼 養 羽 数	千羽	141,463	28,254	2	19.97	R5.2.1 //
ス ギ 素 材 生 産 量	千m ³	13,238	1,878	1	14.19	R4年 //
乾 し い た け 生 産 量	トン	2,216	388	2	17.51	R3年 //
海 面 漁 業 ・ 養 殖 業 生 産 量	//	4,163,072	114,395	9	2.75	R3年 //
近 海 か つ お 一 本 釣 漁 獲 量	//	24,408	18,634	1	76.34	R3年 //
製 造 事 業 所 数 (従 業 者 4 人 以 上)	事業所	176,858	1,300	40	0.74	R3.6.1 総務省経済産業省
製 造 品 出 荷 額 等 (従 業 者 4 人 以 上)	億円	3,020,032	16,368	41	0.54	R2年 //
事 業 所 数 (卸 売 業 ・ 小 売 業)	事業所	1,228,920	12,268	35	1.00	R3.6.1 //
年 間 商 品 販 売 額	億円	5,398,139	27,138	34	0.50	R2年 //
道 路 改 良 率 (国 県 道)	%	77.6	69.8	37	-	R3.3.31 国土交通省
人 口 千 人 当 たり 自 動 車 保 有 台 数	台	654.8	897.5	7	-	R4.3.31 自検協
都 市 計 画 区 域 内 人 口 1 人 当 たり 都 市 公 園 等 面 積	m ²	10.7	20.3	5	-	R3.3.31 国土交通省
人 口 1 0 万 人 当 たり 医 師 数	人	269.2	269.2	25	-	R2.12.31 厚生労働省
人 口 1 0 万 人 当 たり 一 般 病 院 病 床 数	病床	706	839	18	-	R3.10.1 //
高 等 学 校 等 進 学 率	%	98.8	98.0	45	-	R4年3月卒 文部科学省
大 学 等 進 学 率	//	59.5	46.7	43	-	// //

※順位はR元年度

県のシンボル



県章 (明治 45.1.14 制定)

「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので、「日」を中心に「向」が三方に伸びて、躍進する県のすがたを示しています。

県の木



フェニックス



ヤマザクラ



オビスギ

県の鳥



コシロヤマドリ

県の花



ハマコウ

みやぎぎ犬



県旗 (昭和 39.12.22 制定)

この旗は、県のシンボルであるみどりと太陽 (黄色) をあらわし、宮崎の「ミ」をかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進のすがたをあらわしています。





五ヶ瀬町



日之影町



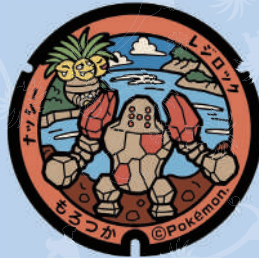
高千穂町



美郷町



椎葉村



諸塚村



門川町



都農町



川南町



木城町



西米良村



新富町



高鍋町



綾町



国富町



高原町



三股町



えびの市



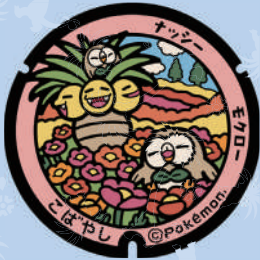
西都市



串間市



日向市



小林市



日南市



延岡市



都城市



宮崎市

ポケモンマンホール

「ポケふた」とは

ポケモンの絵が描かれたマンホール蓋で、全国各地に設置されています。全国・全世界の多くの方に、地域の魅力とポケモンたちの魅力と知っていただくことを目指しています。

宮崎県内のマンホールのどこかに、「宮崎だいすきポケモン」ナッシーの「ポケふた」が設置してあります。どこにあるかはWEBをチェック！各所を巡りながらここにしかない「ポケふた」を見つけてください。ナッシーたちがあなたをお待ちしています。

ナッシーリゾート
in 宮崎

<https://nassy.hinata-miyazaki.jp/> <https://local.pokemon.jp/manhole/>

宮崎県の各市町村 Supported by **ポケモンワールド**

- 高千穂町
- 五ヶ瀬町
- 諸塚村
- 椎葉村
- 美郷町
- 西都市
- 西米良村
- 小林市
- えびの市
- 高原町
- 都城市
- 日之影町
- 延岡市
- 門川町
- 日向市
- 都農町
- 川南町
- 木城町
- 高鍋町
- 新富町
- 国富町
- 綾町
- 宮崎市
- 三股町
- 日南市
- 串間市

宮崎県内の「ポケふた」設置完了!

みやざきのうごき2023
2023年 8月発行
宮崎県
宮崎県ホームページ
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp>